

波市 ニュース

選) 平成21年12月発表



中京圏との交流促進

「砺波地域情報センター」新設 4月
「東海となみ野会」発足 11月



増山城跡が 国指定史跡に

県内屈指の規模と
歴史的価値が評価 7月



「出町子供歌舞伎曳山会館」が オープン 10月

「砺波子供歌舞伎曳山振興会」
地域文化功労者表彰受賞も 11月



タマネギ、 となみ野の特産品へ

作付面積を大幅に拡大



東海北陸道開通後初の チューリップフェアにぎわう

高速料金値下げなどの追い風受けて
入場者数増 4・5月





2009年 砺波 10大ニ

(砺波市政記者クラブ)

6位

児童・生徒が大活躍

- 鷹栖小が「交通安全子ども自転車県大会」で11連覇を達成
- 県中学校駅伝競走大会で出町中女子チームが2年連続5回目の優勝
- 庄西中新体操部が全国大会で8位
- 庄西中吹奏楽部が全日本マーチングコンテストに北陸代表として出場
- 砺波の球児、高校野球に旋風

7位



砺波総合病院が「地域総合診療科」を開設

患者に素早く対応 9月

8位

誕生5周年を迎える砺波市が「住みよさランキング」で堂々3位 5月



となみ散居村ミュージアム「民具館」がオープン

砺波地域の先人の知恵を伝える 6月

9位



10位

初めて大選挙区制となった市議選で、22人が無投票当選 4月



2009年その他の主な出来事

- 1月 雇用情勢の急激な悪化を受け、緊急雇用対策で職員を募集
新「出町太田往来踏切」開通で市民生活がさらに便利に
- 2月 小中学校の耐震化工事が完了
砺波市消防団が、最高栄誉の特別表彰「まこと」を受章
- 3月 新「庄川警察官駐在所」が完成
- 4月 「市民協働・ボランティア支援係」を新設
イベント会場などでボランティアが活躍
副市長に柴田敏秋氏が就任
「庄川左岸農地防災事業所」が開所
農業用排水施設の機能強化に向け事業スタート
プレミアム付き商品券が発売・完売 定額給付金の支給受け
- 5月 市民と市長が直接対話「タウンミーティング」が各地区で順次開催
- 7月 砺波市温水プール利用者が50万人を突破
「闘魂元氣道場」が活動開始 若者の視点で砺波をもっと元気に
北陸道庄川左岸IC設置に向け砺波・高岡の両市など協議会設立
砺波市行政改革委員会を開催
会長に高岡法科大の吉原節夫学長 行政経費のさらなる節減へ
- 8月 砺波市初の女性議会が開会
- 10月 「砺波消防署庄東出張所」が開所 より早く災害・救急現場へ
中神土地地区画整理事業の工事始まる
ハナノック新生産棟が年内稼働できず
優美な鑲絵などをもつ「千光寺土蔵」が市指定文化財に
土蔵としては県内初
- 11月 初の「ゆず直売所」を開設 「金屋ゆず生産組合」消費拡大目指す
新型インフルエンザ猛威ふるう
幼稚園や小中学校で休校や学年学級閉鎖相次ぐ
「庄川桜つみみテル事業」完了 庄川左岸に桜並木の憩いの場
新しい「藤橋」が完成 生活道路の利便性高まる
- 12月 砺波総合病院が北陸で初めて「腹腔鏡下前立腺全摘除術」を開始

11/20 ▶ 12/19

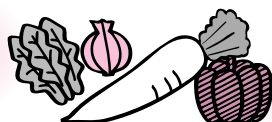
路上の市場 にぎわう

～冬のふれあい市～

11月29日、となみ駅前商店街通りで、「第25回砺波市冬のふれあい市」が開かれました。これは、市内の生鮮食料品などを集めて消費者にPRし、商店街の活性化や地産地消の推進を図ろうと、砺波商工会議所などでつくる実行委員会が、市内の各商業団体の協力を得て毎年開催しているものです。

歩行者専用となった道路上には、砺波魚業協同組合の鮮魚コーナー、砺波食肉組合の精肉コーナー、砺波青果物組合のそ菜・果実コーナーなどが並び、安くて新鮮な品々を買い求める人々ににぎわいました。

また、生鮮食料品が当たる抽選会や、つきたての餅を振る舞う餅つき大会など多彩な催しも行われ、人気を集めていました。



心の声に耳をかたむけよう ～健康フォーラム「心の健康を考える」～



「健康フォーラム 心の健康を考える」が、11月28日、砺波市文化会館で開かれ、参加者およそ200人が、うつ病について理解を深めました。

前半では、砺波市出身で金沢大学医薬保健研究域教授の長谷川雅美さんが、「人生におけるストレスとうつ」と題し、うつ病の症状の気づき方や、うつ病とのつきあい方について講演。「うつ病は必ず治る病気で、症状は一進一退しながら少しずつ回復する。叱咤激励などはせず、患者の気持ちを受け止めて、話をしっかり聞いてあげてほしい。「いつでもあなたに手を差しのべることができますよ」という姿勢を見せておくことが大切です」と呼びかけました。

後半では、「私のストレス解消法」と題して、砺波を中心に活動している混声カルテット「ヴィザ・ヴィ」の皆さんが、スタンダード・ナンバーの美しいハーモニーをいきいきと披露。メンバーの森田礼子さんが、「歌うことで、同世代の中高年の方に、共に楽しく・強く生きましようというエールを送りたいと思っています」と締めくくりました。



「ヴィザ・ヴィ」の皆さん

心の健康に関する相談窓口

富山県砺波厚生センター ☎ 22-3512
 砺波市健康センター ☎ 32-7062

笑顔で支えあい キラリ輝く故郷を

～ 女と男のパートナー会議・
男女共同参画推進のつどい ～

12月13日、庄川生涯学習センターで、「女と男のパートナー会議・砺波市男女共同参画推進のつどい」が開かれました。

注目を集めたのは、市から委嘱を受けている男女共同参画推進員の皆さんが披露した朗読劇「波^ほ砺^り山^{やま}さんちのボランティア」です。内容は、三世代家族のおじいさんがボランティア活動を始めたことをきっかけに、家族みんながいきいきと生活するためには、自分のできる活動を楽しむことや、家族で互いに支えあうことが大切だと気づくというもの。「家族みんなで支えあい、キラリ輝く故郷を目指しましょう」と呼びかけました。

続いて、障害児や高齢者が同じ空間で介助サービスを受けられる「富山型デイサービス」を発案した、NPO法人理事長の惣万佳代子氏が講演しました。自身が運営する施設の利用者同士が、身体的ハンディを自然なこととして認め合い、家族のように心を通わせている様子を紹介。「私たちNPOは、制度があって活動するものではありません。まさにニーズがあるから活動するのであって、制度は後からついてくるのです」と力強く述べました。



朗読劇を披露した男女共同参画推進員の皆さん



惣万佳代子氏

夢の対戦! 砺波のママさん VS 元全日本ドリームチーム

～ はつらつママさんバレーボール in Tonami ～



女子バレーボールのオリンピックメダリストや全日本チーム経験者が開催地のママさんチームと交流する「宝くじスポーツフェア」はつらつママさんバレーボール」が、11月28日と29日の両日、富山県西部体育センターで開かれました。

これは、バレーボールを通じた交流を健全で明るいまちづくりに生かそうと、(財)自治総合センターが県や市と共催したもので、富山県内での開催は今回が初めてとなります。

2日間にわたり「指導者クリニック」や「バレーボール教室」などが行われ、オリンピックで活躍した大古誠司さん、江上由美さんら名選手が、地元のバレーボール指導者やママさん選手らに技術的なアドバイスをしました。

また、全日本チーム経験者などをメンバーとする「ドリームチーム」が地元のママさんチームと対戦する親善試合も行われました。「庄川クラブ」、「庄西クラブ」、「喜楽クラブ」の3チームの皆さんが順に出場し、名選手との“夢の対戦”を果たしました。



試合後、健闘した「喜楽クラブ」の代表者が、「ドリームチーム」を率いた河西昌枝氏と握手